

【私の趣味】

「四つ葉のクローバー探しのコツについて」

松水征夫

本会の会員である広島大学名誉教授の渡邊敦光先生が、フェイスブックの投稿にいつも「本日の1枚」ということで、その日に見つけられた四つ葉のクローバーの写真を掲載されているのを拝見して素敵と思い、何か探されるコツがあるのかと思い、3年前の7月に指導をお願いしました。それ以来、ウォーキングを兼ねて四つ葉のクローバー探しを続けてきましたが、いざはじめて見ると、簡単には見つからない大変奥深いものですが、見つけた時の喜びは格別であることが分かりました。

私は3年前の7月以来これまでの3年間で約250枚くらいの四つ葉のクローバー（20枚の五つ葉、3枚の六つ葉を含む）を見つけ、私のフェイスブックに投稿してきました。広島経済大学に在職していた2年前の2月に、同大学の興動館の「本の世界に触れようプロジェクト」の学生が、小学生に本の「しおり」を作る教室を開くことになり、四つ葉のクローバーを使用した「しおり」を作ることになり、私が四つ葉のクローバー探しを続けていることをご存じの大学の同僚が学生さんに私のことを紹介されたことがきっかけになり、学生諸君に四つ葉探しのコツを伝えて、四つ葉探しの実習をしてもらうということもありました。私が事前に見つけた四つ葉が生えているところに案内すると、4人の学生は目が良いのか、瞬間に四つ葉を10枚、五つ葉を1枚、二つ葉を1枚見つけました。

その時に、学生諸君に四つ葉のクローバー探しのコツについて伝え、学生諸君が実際に四つ葉のクローバーを見つけることができましたので、今度は学生諸君が後輩に伝えられればと思います。その時、私が学生諸君に伝えた「四つ葉のクローバー探しのコツ」の一端を、私の goo ブログ「大学教員活動ブログ」に2015年2月11日付けで投稿していますが、今回、それを書き直して、本会のホームページの「会員の広場」に投稿させていただきます。



2014年11月に見つけた二つ葉のクローバー



2014年9月に見つけた四つ葉のクローバー



2014年9月に見つけた五つ葉のクローバー



2015年9月に見つけた六つ葉のクローバー

【私の四つ葉のクローバー探しの実践方法】

(1) 四つ葉のクローバーの生えている場所

- 川土手や、田畑のあぜ道などの日当たりのよい場所、水はけのよいところ
- 発芽の時期に人に踏まれて傷ついたものが四つ葉になるとのことで、人が沢山通るような道の周辺
- 私の経験では、人があまり通らないような広い野原には、クローバーがたくさん生えていても、四つ葉のクローバーは見つかりませんでした。

(2) 私の四つ葉探しのコツ

私に四つ葉探しの方法を教えて下さった渡邊敦光先生は、「四つ葉のクローバーが私を見つけてくださいと呼びかけている」とのことでしたが、私はまだその域に達していませんが、3年前の7月から3年間以上続けてきた私の経験から学んだ「四つ葉のクローバー探しのコツ」は、次の通りです。

1. 必ずあることを信じて、見つかるまでその場を離れないという強い気持ちで、**1枚ずつ丁寧に根気よく探すのが最大のコツ**
2. 四つ葉のクローバーが1枚見つかると、その場所が四つ葉のクローバーが発生する確率が高いところだということで、その周辺で別の四つ葉のクローバーが見つかることが多いので、さらに同じ場所を根気よく丁寧に探すことが大切である。
3. 四つ葉のクローバーがないところには、何回見てもないので、1回探して見つからないところは探すのをやめて、別のところを探すという見切りをつけることも大切である。
4. クローバーは多年性で1年中生えているが、秋になるとどこでも芝刈りが行われ、クローバーが見られなくなります。芝刈りが行われても、また新しい芽が出てきますが、冬になり寒くなると、成長が遅く、ほとんど見られなくなるので、四つ葉のクローバーは春から夏にかけてが、探すのに適当な時期と思われます。

四つ葉のクローバー探しに関心のある人は是非とも参考にして下さい。私は、四つ葉のクローバーを見つけると、1週間くらい本の中に挟んで水分を抜いてから、ラミネートフィルムに挟んで、しおりなどに使用しています。親しい人にも差し上げていますが、大変喜んでいただいています。皆さんに幸せが舞い込むことを願っています

私はこれまでに六つ葉のクローバーまで見つけていますので、昨年来七つ葉のクローバーを見つけることを目標にしていますが、なかなか見つかりません。自然界には八つ葉のクローバーまでであるとのことですので、これからも七つ葉のクローバーを気長に探していきたいと思っています。ちなみに四つ葉のクローバーの花言葉は「幸福」ですが、七つ葉のクローバーの花言葉は「究極の幸福」ですので、七つ葉のクローバーを見つけたら、四つ葉のクローバー探しを終えることにしたいと思っています。

(2017年10月10日)